

令和2年度 学校関係者評価報告書

国際アート&デザイン大学校

学校評価委員会

令和3年7月12日

「令和2年度学校関係者評価」の実施結果と今後の課題

1. 学校法人 国際総合学園 国際アート&デザイン大学校における「令和2年度 学校関係者評価」は、令和3年5月10日に学内評価委員による自己点検評価を実施し、令和3年5月26日に教職員全員による自己点検評価の確認会を実施した。令和3年7月2日には、学校評価委員会を開催し広く意見交換を実施した。各委員からの意見を集約し、学校評価委員2名と学内評価委員1名で学校関係者評価を実施し、本書の通り報告書をまとめた。
2. 全国専門学校経営研究会版「作成マニュアル」の自己点検・評価基準をベースに自己点検・評価を行い、不備な点等の改善について今後の方向性を協議するとともに、次年度以降の取り組み課題を明確にした。
3. 令和2年度学校関係者評価を受け、一定の方向性を持って学校評価を進めていくことにより、質の保証・向上のなお一層の取組充 実が図れるよう努めていきたい。

学校関係者評価報告書（学校関係者評価委員会）報告

1 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標自己点検・評価項目

■項目1－3 ○自己評価4、 ○委員評価3

・教育理念（建学の精神）・目的・目標、育成人材像等

建学の精神

「教育、文化を通して地域社会、国家の発展に寄与する。」

教育方針

本校はデザイン・エンターテイメントにおける技術と知識の習得を基に実社会において優れた人材として活躍できる人間の育成を目標とする。

- ①デザイン・エンターテイメントにおける創造力及び実践技術の向上と育成
- ②豊かな人間性と礼節を重んじる社会人の育成
- ③建設的な強い意志を持ち行動力に富んだ人間の育

校訓 誠実 明朗 進取

・建学の精神を基礎に、教育方針、教訓等が明文化されており、学生の手引きに公表されている。保護者会等の行事で配布する資料等においても、積極的に教育目的・目標を公表している。

・課題である年間学校行事スケジュール公表は、ホームページに予定表のページを作り公開をはじめている。

【委員からの意見】

公表については学校ホームページに掲載されているが、探しにくいのも正直ある。学生、保護者に向けてもっとわかりやすい部分に掲載する事も検討してみてもどうか。

2 教育の内容 自己点検・評価項目

・教育カリキュラムの作成について

■項目 2-1～5 について ○自己評価 4、 ○委員評価 4

「職業実践専門課程」の設置により、学科毎にカリキュラム作成委員会を設置し業界関係者にも参画頂きながら教育課程の編成を行っている。年2回の教育課程編成委員会を開催し、業界の動向や委員からの意見を収集し、実習内容を振り返りによってカリキュラムを見直す組織体制が整ってきている。今後も更に実践的な教育課程を検討し改善を図っていく。

【委員からの意見】

・前年度、全前年度においては姉妹校との産学官連携授業もあり、少しずつ進んでいるように感じる。更に色々な分野、学校と関わられるようにしてください。

・カリキュラムの作成等の取り組みについて

■項目 2-8 ○自己評価 3、 ○委員評価 3

年間のカリキュラム予定とシラバスにより講義内容が作成されており、学生や保護者にも学科ごとの概要が配布されている。課題としてはコマシラバスの作成であり詳細な講義要綱等は配布されていないのが現状である。

【委員からの意見】

・コロナ禍でオンライン授業等増えていると思う。オンライン授業への移行はスムーズに出来ているのか？また、学生はオンライン授業についてどのように感じているのか？

・教授学習プロセスの改善への取り組みについて

■項目 2-9～15 ○自己評価 3.3、 ○委員評価 4

授業内容の改善や学生によるアンケート、授業評価の結果に基づく学校側の改善活動は、教育上必要不可欠であり継続している。アンケートの結果を各教員にフィードバックするとともに、研修や授業観察を実施している。

【委員からの意見】

・学生が先生方や学校に対して意見を言える環境は良いことだと思う。一方的な評価や指導は問題となるケースもあるので、常に公平な教育指導であってほしい。(昨年同様)

・業界ニーズに対応した付加的教育について

■項目 2-16～22 ○自己評価 3.9、 ○委員評価 4

主に就職活動の一環として企業での職場実習（インターンシップ）を実施している。他の高等教育機関との連携講座については、ワークショップイベント的に開催することは出来ているので一定期間継続した講座を検討していく。地域・行政との連携は数多く実施している。

【委員からの意見】

・地域のイベントに数多く参加していることは新聞等でも見る事が出来るので、素晴らしい取り組みだと思う。(昨年同様)

・しかし、コロナ禍でもあるので徹底した感染対策のもと参加をしてほしい。

・教員の資質維持や向上について

■項目 2-23～27 ○自己評価 3.2、 ○委員評価 4

教職員の資質を維持しその専門性や指導能力の向上を図るためにも、教職員に対する研修は必要不可欠である。教員一人ずつの年間研修計画を作成しているが、今後はより専門性の向上を目指して取り組んでいく。

【委員からの意見】

・世間ではいじめの問題等もあり、専門学校における学生指導においては専門以外の知識も必要な時代なので積極的に研修を実施して頂きたい。(昨年同様)

3 教育の実施体制 自己点検・評価項目

■項目3-10 ○自己評価3、 ○委員評価3

・教育環境の整備・活用について

学内外実習時の安全対策については、学科ごとの実習指導時に配布文書で説明している。今後は学生の手引きにも記載する。

4 教育目標の達成度と教育効果 自己点検・評価項目

■項目4-1～22 ○自己評価3.5、 ○委員評価3

・教育目標達成への取り組みと評価について

退学者数の公表については、保護者会資料等での公表のみとなっている。

卒業1年後の就業状況の把握については不十分な点があったので、同窓会の案内はがきにより把握に努めた。今後も企業訪問や同窓会等でその把握に努める必要があるが、公開については検討を続ける。

【委員からの意見】

- ・早期離職を防ぐためにも、就職の動機付けと職場体験の機会を増やすことが必要だと思う。地元経済団体との連携を活用してほしい。(昨年同様)
- ・卒業生のその後の把握については早期離職を防ぐためにも、今後就職活動する在校生にとっても大切なことだと思うので力を入れてほしい部分である。

5 学生支援 自己点検・評価項目

■項目5-21 ○自己評価2、 ○委員評価2

・卒業生に対する職業紹介については希望する場合に実施しており、講習・研修の案内も希望者に対して実施している。

・保護者の会及び企業の会はまだ組織化されていない。専門学校への保護者理解は必要となるので検討しているが、保護者会としては年間を通して実施されていることと個別相談会も随時対応しているのが現状である。企業の会の設立については、教育課程編成委員会メンバーの他、卒業生の就職先企業を中心に今後検討していく。

【委員からの意見】

- ・コロナ禍でA&Dの分野の求人は大きく減ったのではないか。その場合には早くから対策を立て、行動をしていかないといけないと思う。
- ・5,月2回の保護者メールについてはよい取り組みだと思う。引き続き実施してほしい。

6 社会的活動 自己点検・評価項目

・社会活動への取組について

■項目6-1 ○自己評価4、 ○委員評価4

昨年度は新型コロナによる感染対策により、イベント等が大きく減少した。その中でも展示やオンラインでのイベント、少人数でのワークショップが出来たことは次につながると感じている。感染症対策を徹底しながら学生に参加の機会を増やしていきたい。

【委員からの意見】

・コロナ禍でイベント等開催や参加が出来ない状況にあるが、学生と職員の安全策を主催者と確認した上で、地域に貢献する機会を出来る限り増やしてほしい。

7 管理運営 自己点検・評価項目

■項目7-1~22 ○自己評価3.9、 ○委員評価4
これまでの概要説明。

8 財務 自己点検・評価項目

■項目8-1~10 ○自己評価4、 ○委員評価4

法人として健全な財務状況となるべく中長期で収支計画を立てており、適切に外部監査を受けている。

9 改革・改善 自己点検・評価項目

■項目9-1~9 ○自己評価4、 ○委員評価4

自己点検・評価を実施して全職員への共有機会を設けている。改善点への対応については、年度目標として期限があるものについては速やかに対応し、それ以外は継続的に改善へ向けた対応を進めることとする。

今後も学校評価については、自己点検を速やかに実施するとともに全職員で共有する機会を設け、学校評価委員とともに改善項目の取り組みについて継続的に確認を行うこととする。

以上。